



消防大学校だより

女性活躍推進コースにおける教育訓練

消防大学校では、節目の10回目となる女性活躍推進コースを開催しました（令和7年12月11日～12月19日）。このコースは、女性消防吏員の幹部候補生に対し、キャリア形成を支援し、職域拡大等を目的とした知識及び能力を修得させることを目的に実施しています。全国の消防本部から女性消防吏員48名が、入校前のeラーニングによる個別学習を経て、2日間のリモート講義と5日間の全寮制の集合教育に参加しました。

リモート講義では、最新の消防行政の動向、リーダー育成や人事管理など幹部職員として必要な知識に加え、現場指揮に必要となる安全管理の知識や、職域の拡大に向け、緊急消防援助隊派遣時の活動状況等について、派遣隊としての活動経験がある女性消防吏員の講義を受講しました。

集合教育期間には、部下指導のための教育技法、ペップトークや説得技法等の講義を受講しました。また、女性管理職によるキャリアプランに関する講義では、自らが後輩のためにロールモデルになる必要性を実感するとともに、頑張り過ぎず自然体で前向きに取り組むことが大切であることを学びました。

課題研究発表では、各自与えられたテーマについて全員が1人ずつ研究結果を発表する形で相互啓発が行われるとともに、コメンテーターとして臨席した先輩女性消防吏員や女性活躍推進アドバイザーから様々なアドバイスをいただきました。

また、警防面の更なるスキルアップを目的とした実技

訓練として、指揮隊運用の図上訓練を繰り返し実施し、基本的指揮要領を学びました。その後、指揮シミュレーション訓練で、指揮隊と活動部隊との情報共有や部隊連携の重要性などを学び、現場指揮技術の向上を図りました。

火災現場指揮訓練では、火災現場と同様の熱、煙の状況をつくり、中性帯やロールオーバー等の火災性状を観察するとともに、注水による熱環境の変化や脱出時間を確保するための注水技術を学び、現場の安全管理能力の向上に努めました。

本コースは、幹部として必要となる知識及び技術の習得を行うとともに、全国の女性消防吏員の仲間と共通課題に取り組み、今後のキャリア形成等について情報共有できる素晴らしい機会です。学生からは、「昇任試験を受験する意欲が湧いてきた。」「自らを成長させ、組織の向上に貢献したい。」などの声がありました。

今後は、研修で得た知識及び技術を最大限に発揮し、吏員としての強い連帯意識で結ばれた全国の仲間達と助け合いながら、地域の安心・安全のために一層ご活躍されることを心から願っております。

消防大学校では、幹部科等で女性活躍推進の意義について講義を設けるとともに、本コースの実施のほか各学科、コースともに定員の5%を女性消防吏員の優先枠として設定し、女性の入校を推進しています。女性消防吏員の皆様の消防大学校への積極的な入校をお待ちしております。



指揮シミュレーション訓練



注水訓練



閉講式後の全体写真

航空隊長コースにおける教育訓練

消防大学校では、消防・防災航空隊の隊長等に対し、航空隊の運用・活動統制・広域応援等を学び、その業務に必要な知識及び能力を修得させることを目的として実務講習「緊急消防援助隊教育科航空隊長コース」の教育訓練を実施しています。令和7年度は、第25回を2週間（12月4日から12月17日まで）の日程で実施し、全国の消防防災航空隊の隊長、副隊長及び操縦士など60名が受講しました。

本コースでは、「安全運航」を大きな柱とし、「航空法規」、「航空工学」などの基礎的知識をはじめ、消防庁職員による「航空消防防災の現況」や「消防広域応援の対応」、警察庁・海上保安庁による「他機関との連携強化」、「群馬県防災ヘリ墜落事故」や「安全への取り組み～長野県消防防災航空隊の事故、再構築を通して～」、「大船渡大規模林野火災」についてなど、様々な講義により知識や知見を深めることができました。

課題討議Ⅰでは、航空隊の指揮管理監督者に求められる資質である、「正解の存在しない状況下」における意思決定の質を高め、状況に応じて多様な考え方ができる力を身に付けることを目的として、「現場の使命」と「ルールの絶対性」、「自律的な学びの促進」と「具体的な知識・技術の指導」といった価値観のジレンマをテーマに、班相互によるディベート形式で論理的な対話を行いました。また、課題討議Ⅱでは、各消防防災航空隊が直面し

ている各種課題に対する自隊での成功事例や工夫を基に、学生間で多角的な議論を行い、新たな解決策の創出を図りました。具体的には、持ち寄った成功事例や取組について班内で個別に発表した後、班として「他の学生にとっても有益であり、他隊への応用可能性が高い」と判断されるテーマを一つ選定し、その内容について討議・研究を重ねることで提案を深化させ、最終的に全学生の前で発表し、知見の共有を行いました。

校外研修においては、埼玉県防災航空センターを視察し、入電から出動前ブリーフィングに至る一連の流れや、建物救出（ベランダ）に関する対応要領、使用資機材の説明等について理解を深めました。これらの内容について、学生からは非常に有意義であったとの評価が多数寄せられています。

研修を終えた学生からは、「全国の消防防災航空隊の方との貴重な情報交換や親睦を深めることができた」、「航空業務における各隊の共通する諸問題、航空指揮者としての課題等を十分に討議することができた」、「安全運航の重要性や緊急消防援助隊における受援体制が学べた」等の感想が寄せられました。

今後は、消防大学校で修得した幅広い知識を糧にし、安全運航を第一に機動力を活かした消防防災航空隊の充実強化と大いなる活躍を期待しております。



課題討議Ⅰ（ディベート）



視察研修（埼玉県防災航空センター）



消防大学校南寮前で全体写真

問合せ先
消防大学校教務部
TEL: 0422-46-1712